

令和2年度

# 札幌地区

事務局：札幌市立山の手小学校

札幌市小学校長会は、市内 200 校（併置校：1 校、特別支援学校小学部：1 校、附属小学校：1 校）の校長で組織されている。

今年度は、新会員 29 名を迎え、4 月 21 日に「総会・研修会」（今年度は紙上）を開催し、運営方針と活動の重点及び年間予算を決定した。



昨年度の 2 月研究大会から

## I 本年度の運営方針

札幌市小学校長会は、札幌市の教育が目指す人間像「自立した札幌人」の実現に資するよう、校長としての役割と指導性の研さんなど職能向上に努め、本市教育の振興に寄与していく。

求められる資質・能力の共有など、家庭や地域社会との連携を図り、自ら考え、共に生きる力育むことを要とした学校経営に努める。

未来を切り拓く力と併せ、世界の中の日本人としての自覚を育むなど、社会の変化への対応を見通した教育課程の編成に努める。

今後の教育改革の方向性を見すえ、学校の果たすべき課題の解決に向けて、会員相互の連帯と協調の下で本市教育の推進に努める。

## II 活動の重点

### 1 学校経営の充実

- ・家庭や地域社会からの信頼を得ながら、創意と活力に満ちた特色のある学校経営の充実を図る。

### 2 研修活動の充実

- ・時代の変化や社会の要請を踏まえた諸課題の解決につながる資質の向上に向け、研修活動の充実を図る。

### 3 組織の充実・強化

- ・10 支部及び専門部 6 部を両輪として、研究成果等について、情報共有を密にし、組織の充実・強化を図る。

## III 活動の具体化

### 1 学ぶ力を確かに育む教育活動の推進

- ・学ぶ力をバランスよく育むよう、特色ある教育活動を推進する。

### 2 豊かな感性や社会性を育む指導の推進

- ・自己肯定感を高め、思いやりの心等を育む指導を推進する。

### 3 健康的な心身を育む指導の推進

- ・積極的に心身の健康の保持増進を図るための指導を推進する。

### 4 教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進

- ・教育的ニーズに応じる連続性のある学びを組織的・計画的に推進する。

### 5 よりよい教育環境整備の推進

- ・望ましい教育環境の実現を図るための対策や取組を推進する。

### 6 学校における人材育成や働き方改革等の推進

- ・学校における業務の適正化や教職員の意識改革を推進する。

### 7 教育関係機関・団体との連携

- ・札幌市小学校長会が自主性・主体性を発揮しながら、目的を達成できるよう、職能団体や教育関係機関などとの連携の在り方を探る。

## IV 各部の活動方針

### 1 庶務部

札幌市小学校長会の運営方針・活動の重点及び会長の会務推進に対する基本的姿勢に基づき、市小会員の一層の連帯と協調を図り、職能向上に寄与するべく諸会議の円滑な推進に当たる。

## 2 研究部

- (1) 札幌市小学校長会の運営方針及び活動の重点に基づき、専門部の研究を活性化するとともに、校長の果たすべき役割と指導性を究明する。
- (2) 各専門部が交流・協議し合い、効果的な共同研究を推進することにより、各専門部の研究を深めるとともに、札幌市小学校長会の研究主題・副題の究明を目指す。
- (3) 今日的な課題を視点に研究を深化させ、適時性のある内容を調査・実践研究するとともに、内外に提言・発信を行い次期3か年継続研究の道筋を明らかにする。

## 3 広報部

本年度の札幌市小学校長会『運営方針と活動の重点』及び会長の会務推進に対する基本姿勢をふまえ、市小会員のより一層の連携と協調を図り、職能向上に寄与する広報活動を推進する。

本会機関会議の審議、決定事項、推進状況等を迅速・正確に会員に知らせるとともに、対外的にも札幌市小学校長会の「会員要覧」、会誌「教育札幌」を発行する。

- (1) 会員相互の交流と協調、研究に資する会誌を発行する。
- (2) 会務運営の効率化と統制ある推進に寄与する会員要覧を発行する。

## 4 組織部

- (1) 札幌市小学校長会の事務局（組織部）として現況を真摯にふまえ、前向きに組織化の推進に当たる。
- (2) ミドルリーダー研修会の周知と推進に努め、集約業務を行う。

- (3) 新会員になった学校長に対して、学校経営に関する研修会を開く。

## 5 調査部

- (1) 札幌市小学校長会の「運営方針及び活動の重点」に基づき、学校経営上必要な事項について調査・分析を行い、会員の職能向上に寄与すべく資料を提供する。
- (2) 要望書作成委員として、札幌市小学校教育の充実と発展を見据えた札幌市教育委員会への要望書を作成する。
- (3) 教育実習受け入れ業務を推進するとともに、望ましい教育実習の在り方について考察する。

## V 役員

会 長	林 貞年 (中央小)
副 会 長	池田 哲也 (ひばりが丘小)
〃	附田 裕哉 (宮の森小)
〃	北本 雅人 (発寒小)
〃	神谷 敦 (篠路小) 道小
監 査	野村 幸明 (東橋小)
〃	木村まどか (豊園小)
〃	高安 敦子 (手稲鉄北小)
〃	及川 俊志 (東川小)
事務局 長	島田 裕文 (山の手小)
事務局次長	出葉 充 (桑園小)
〃	足立 教 (幌西小)
会 計	湊 義行 (信濃小)
庶務部長	徳田 恭一 (資生館小)
研究部長	大牧 眞一 (幌南小)
広報部長	白崎 正 (八軒西小)
組織部長	佐藤 達也 (月寒東小)
調査部長	平澤 淳志 (盤溪小)